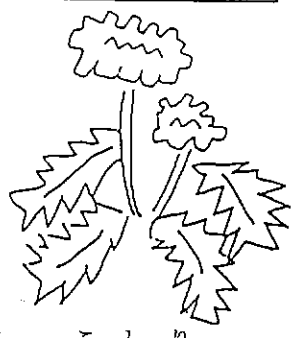


NO 190  
 H15年4月1日  
 一発行一  
 〒869-1217  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100



り、いかに失敗しないように援助していかを考え、実践していくことにあります。

ETCのようなハイテクが導入されることによって、不便になることが多くあります。不便な部分にもスポットを当て、不便でないように努力していくことが福祉の仕事ではないでしょうか。美辞麗句に踊らされることなく、ありのままの姿を映し出すことが私たちの仕事です。

平成十五年度は、社会福祉基礎構造改革が改悪とならないように今まで以上に利用者のために頑張る必要があるようです。

ETC

施設長 松田 健

私は通勤に際しほほ毎日高速道路を利用しています。通勤割り引きはありませんが、5万円のカードを買うと8千円分多く乗れるようになります。

ETCなるものが登場し、便利になったと思いましたが、特典はカードと同額であり、機械購入費は自己負担、永遠に元手は回収できないこともあって購入することを見送りました。都会ではどうなのかは分かりませんが、田舎では通勤に高速道路を使用する人は珍しいこともあるのでしょうか、ほとんどETCを使う人を見たことがありません。たまに見たかと思うと、猛スピードで突き抜けていきます。今まで二か所精算所があったところも一カ所はETC専用となり、当然渋滞するようになりました。そして、偽造があるから5万円、3万円のカードは販売中止にするとのこと

です。伸び悩んでいるETCを普及するために行っていると思ってしまう。顧客を軽視した発想を感じます。

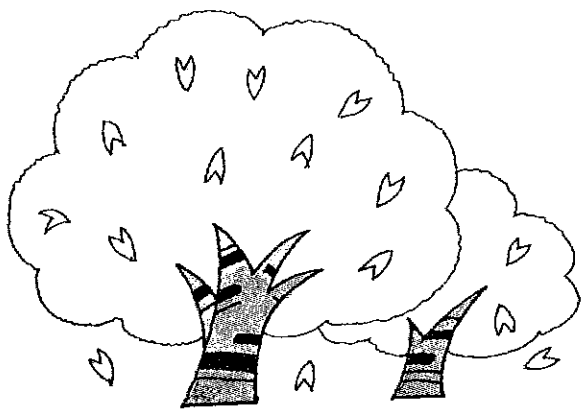
福祉の世界で同じことが起ころうとしています。保護者負担金は絶対にあげませんと言っておきながら、舌の根の乾かぬうちに、2倍近く値上がりします。猛烈な反発があると、一年間だけ、優遇しますという。

「今からは利用者と施設は対等な関係になります。利用者の意思を尊重してください。契約によって関係が成立します。」対等であれば、施設側も拒否する権利があるかと思えます。三気の里は療育的に大変だということでお断りしたことはほとんどありません。(正直にいうと身体障害の合併の方を自閉症者中心の施設であること、設備面が伴っていないことを理由にお断りしたことが一例だけあります。そのことが今でも私の心の中

に引っ掛かっています。ただ、施設の方針を理解しない方、ほとんど施設に協力されない方など申し上げないのですが入所をお断りしたケースがあります。しかし、応諾義務があるからといって極端なこととはできません。

対等と言えるのでしょうか。本人の意志の尊重とありますが、自己表現出来ない人はどうなるのでしょうか。代弁者である保護者、家族の意見となるのでしょうか、今までと大差ないように思います。声高に理想的なことばかり叫ぶことが実は利用者の実態を覆い隠すこととなり、差別的行為を繰り返し行うことになると考えています。例えば、マラソン大会に出場するか否かを利用者に尋ねると、中に「出ない」とはつきり言う自閉症の方がいます。

本人意思を尊重する立場からいえば、ここで話は終わります。私たちの仕事はここからが始まりであ





# 2 班にゆーす



## 2 班・題して…卒業写真

卒業シーズン…別れ・出会い・旅立ちの時期となりました。出会いとは幸せな瞬間ですが、別れとはあまり体験したくない瞬間です。だから別れを悲しく終わらせたくないのが、私の気持ちにいつもあります。悲しくも2班でもいくつかの旅立ち(別れ)がやってきました。

### 《6人の旅立ち》

幸恵さん…4月からは4班(のん気班：現6班)にいきます。私が就職した直後“おじやる丸”の歌を歌ってくれました。それから私はおじやる丸ファンで、グッズを集めるのが私の楽しみとなりました。あなたのおかげです。

雄一さん…今度1班にいきます。2班にきて2年、しっかり関わる時間もなくて別れとなりました。今後の成長を見守っています。

櫛本指導員…1班へいきます。我が班のリーダーとして、太陽のような存在の職員でした。1班での活躍を期待しています。

坂本指導員…2班での3年間という間、一緒に働きお世話になりました。いつも明るく、指導場面・生活での家庭的な関わりとのめり張りのある接し方にいつも勉強させられました。また会いましょう。

大橋指導員…急遽12月からの2班、お疲れ様でした。楽しかったでしょ?就労ケア科でも頑張ってください。

残りの1人は…わたくし江藤です。2班での4年間、幸せな毎日でした。別れは嫌なので、旅立ちということで2班を出発したいと思います。

“冬 耐えて、春 夢もって、夏 燃えて、秋 自分をみつめて  
人生 感謝・感動で生きていく 詩人/須永博士 作”



江藤

## 3 班・3 班の成長記

今年度の始め、Fさんは日中は唾を吐いて衣類を汚し、食事中は食べ物を口に入れては吐き出し、それをまた食べては吐き出し、また食べる…の繰り返しでした。彼が1番自己コントロールを失う場面(食事)で「やりとり」を行う事で私の存在が彼の中に根付き、生活場面全般においても指示の通りが良くなり、食事を上手く取れるようになる事で信頼関係も生まれ、本人も困っている事が1つ減り、自己コントロール力もアップするといったように、一石五鳥にも六鳥にもなると考えていました。しかし道のりは考えていた事よりも数倍険しく、私が感情的になり、課題がずれたまま食事を進め興奮を助長させ、食事どころではなくなったり、タイミングが悪く失敗させ、パニックになったりと本人には申し訳ない事を沢山してしまいました。

段階として最初は私が箸を持って適量を適度なペースで口に運ぶ事から始め、挨拶、咀嚼のコントロール、目線、問いかけに反応する、時折本人に箸を持たせブロックしながら口にゆっくり運ばせる、その頻度を増やす、隣に座り声かけのみで行う。現状はここまでしかできていません。しかしこの半年ほどで良い悪いを繰り返しながらも前記の1石五鳥に近づいていると確信できます。(一緒に食べているときは全く唾吐き、吐き出しはありません。)

今後、「いっどこで誰と食事をして僕も平気」と彼が自信を持って言えるようになるよう、スモールステップを踏みながら一緒に頑張っていこうと思っています。

高橋

## 1 班・静かにすること

“静かにすること”、皆さんはできますか？

‘そんなこと簡単にできるよ！’と思う方も多いでしょう。もしくは、‘どうしてそんなことを聞くの？’と疑問にお思いの方もいらっしゃるでしょう。皆さんなら、授業中・工作中・人の話しを聞くときなどは、‘静かにすべき場所・時間だから静かにしておこう！’と頭で考え、声を出さずに口を閉じておく…そんな行動が簡単にできることと思います。ですが、賀文さんにとっては、そうすることがとっても難しい事で理解するには大きな課題でした。一年前の賀文さんとはいうと、作業中ずっと歌を歌ったり独り言を言ったりしていました。‘何でおしゃべりしたらいけないの？’‘静かにする＝？’の賀文さんにとってこの課題を達成することはとても難しく大変な事でしたが、毎日の作業中、時間一杯静かにすることを目標にして、一年間頑張ってきました。結果どうなったと思いますか？(^-^ )今は作業時間中一言も発することなく静かに作業を行うことができています！！賀文さんに拍手！彼の成長振りを見たい方、ぜひ三気の里に遊びに来て下さい。 平山

## 5 班・世界で一つだけの花

拝啓 園芸班の皆様。今年度も残すところあと数日…。作業風景を振り返ると、いつの間にか一人一人にそれぞれの役割ができていましたねえ。泰彰さんは玄関清掃(御存知でしたか？いつも園の玄関や溝がきれいなのは彼のお陰なのです)、誉征さんは定植(駐車場の花壇の花は彼が一人で植えています)、敬一さん・静海さんは腐葉土こし(不純物を除く為丁寧に網でこし、フワフワの腐葉土を作ってくれます)、典浩さんは移植(どんなに小さい苗でもおまかせあれ)、陽治さんは液肥やり(ポンプも運搬も絶対間違えない)、光紀さんは肥料撒き(スプーン 1/3 量を確実に守れます)、武彦さん・正樹さんは培養土の配合&混ぜ(適量とまんべんなくのコツが上手い!)、そして由美さん。職員の指示がなくても自分で作業計画をたて実行(職員が面倒くさがるものもバッチリ!)。みんなが自分の役割を意識して、達人・名人となり、自分たちで準備→作業→片付け→報告までできるようになり、職員はどんどん楽を覚えてしまいました。皆より早く園芸班を卒業し、現在就労科で頑張っている泰成さん・博さんに負けるな、追いつけ、追い越せで、今後もそれぞれの仕事のプロとなって下さい。

流行り物が大好きな 5 班職員が、誠に勝手ながら園芸班のテーマを決めちゃいました。「世界で一つだけの花」から【そうさ僕らは世界で一つだけの花 一人一人違う種を持つ その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい 小さい花や大きな花 一つとして同じものはないから No.1 にならなくてもいい もともと特別な Only one】の言葉を、今年度で園芸班を去る私からのエールとして、贈る言葉とさせて下さい。では、体にはくれぐれもお気をつけて…。

かしこ 佐藤香

## 4 班・農耕班の皆様、一年間お疲れさまでした

この時期、新しい息吹があらこちらで感じられます。皆様いかがお過ごしでしょうか。近頃は雨が多く、温かい日が続いている為、寒さで育ちにくかった草が青々と茂った一文字の背丈まで伸びており、がっかりしてしまいました。こうなると皆の出番です。一年間の作業は、土作り(頂いた堆肥を畑にまきます)から始まり→種まき(種まき責任者も2~3名)→水撒き→やっとな芽が出、育ち始めると草も急速に場所を埋め尽くし始めます。(手はかかるが、なにせ無農薬!)必要になってくるのは、皆の草取りです。細かいのが得意な人、大きい草が好きな人、決まった草ばかり抜きたがる人いろいろいますので、特性にあった作業をしてもらい大活躍です。しかし、あえてチャレンジしてもらおう事もあり、少しずつできる範囲を増やしている現状です。皆さんのおかげで今年もたくさんの実りがあり、収穫ができました。1年間お疲れさまでした。

上野

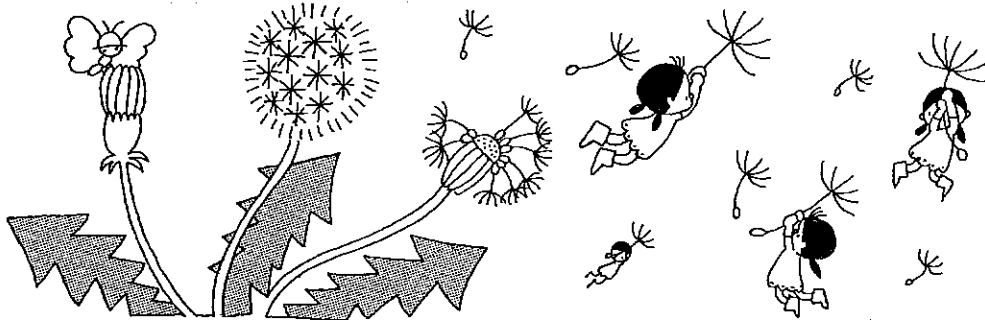


## 6班・パックきり楽しいなあ

6班のアイドル的存在光山君。ここ最近生活面も作業面も見違えるほど張り切っている光山君。そんな彼の作業風景を今回はお知らせしましょう。

午前中は、利用者の靴下を洗濯が出来上がったものから次々にハンガーに干しています。同じ絵柄のもの、同じ色、たくさんの中から探し出し、洗濯バサミに挟むのですが、調子がいいときはいいのですが、これがちょっとサボってみようかなと言う時には、テンデバラバラカラフルに干したりしています。これも、最後まで頑張ってくれているのだから、たまには愛嬌でいいのかと…思ってはダメですね。でも、頑張ってくれてるんです、本当にたくさん量を。午後からの紙漉きでは、以前はやっと10枚が切れるのが一杯一杯だったのですが、現在は、これの倍の倍30枚は余裕で切っています。その後でも、休憩していいはずなのに、次は何をしようかと大張り切り。おやつの時間になってもなかなか止めようとしないこともしばしば。これも、給料を貰い始めてから嬉しさいっぱい胸いっぱい。給料日が近くなると職員よりも早く気付き、当日は誰よりも多分、三気の里で一番ホクホク大喜びの光山君ではないだろうかと思っている今日この頃です。

八木



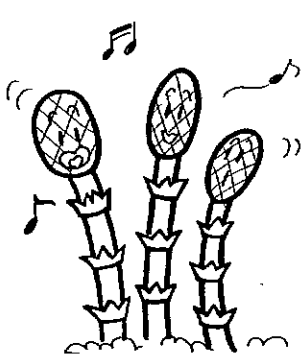
地域交流支援科

麻生 由紀

春爛漫。道端を彩る菜の花や桜のつぼみ。気持ちのよい季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、今年度も地域交流支援科では多くの地域活動を行う事が出来ました。今年度の締めくくりは、2月の4R白川参加と先日行われた大津南小との交流会となりました。両行事とも会を重ねることに交流が深まり、大変意味深いものとなつています。度毎に地域の方から声を掛けていただく機会も増え、利用者も参加を心待ちにするようになつてきました。決して派手な活動ではありませんが、地道に活動を続ける事で得られた事は大きいように思います。そして、それらが今後、利用者の生活に息づいて行くよう、新年度も積極的に活動を展開していきたいと思えます。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



ジョギングフェスティバル

2月23日に大津町ジョギングフェスティバルが行われました。今年2回目の参加となった俊二さん。残念なことに去年は2Kを完走することができませんでした。今年はスポーツクラブへ移動して、毎週クラブの時間にジョギングの練習やイベントにも積極的に参加してきました。その結果大勢の中でも落ち着いて見事2K完走をやり遂げました。応援に来られたお父さんもとて喜んでいました。来年は5Kを目標と一緒に頑張りましょう。 栗野



事務日より 満開の雪柳とたんぽぽの花を見て私の心がなごんでいます。今日此の頃ですが、いがおすごしでしょうか。

園では、四月からの支援費制度にむけての準備と契約が始まり、てんやわんやの毎日です。

利用者の方は新年度の人事に興味をもたれて、事務室の窓から目新しい書類を捜すべく食い入るように見にいらつしやいます。

まだまだ人として未熟な私は、人を思いやる難しさを痛感している此の頃です。

橋口

大賀 聖子

「イチゴの絵」

春、イチゴの季節です。三気の里の2月と3月のレクリエーションでは、県内各所へイチゴ狩りに出かけ、帰って来ると赤い口で甘い香りを漂わせました。そんな、大好きなイチゴを「絵に描いてみよう」と日曜日の朝、絵画制作の時間を設けてみました。絵画制作などと硬いことばを使っているのはみんなに「本物そっくりのイチゴ」を描いてもらおうと目論んでいたから…。

「子供から大人まで誰でも本物そっくりの絵が描ける」がキャッチフレーズの「キミ子方式」という絵の描き方があります。使う絵の具は三原色と白のみ、これを混ぜてモデルとそっくりの自分の色を作り、下書きをしないで、描き始めの一点から隣へ隣へと描き進めていくと不思議なことに本物そっくりの絵が出来上がります。出来上がったら「おめでとう！」必ず作品にして展示します。絵が描けなかったという事がコンプレックスだっ

た私がこれなら描けるかもしれないと、教室に通ったのはもう5年ほど前のことでしようか。キミ子先生の講義、そして書物の中に、障害を持った方にも絵を教えているという話が出てきました。誰でも本物そっくりに描けるといのがキャッチフレーズというのは知っていました。だが、障害のある方にも出来るとはっきりと言われても、正直なところ「難しいよ」と思うばかり。しかし、三原色を混ぜて自分の色を作って描く、はじめの一点から隣へ隣へという法則を守って描く、途中で疲れたら自分で終わりを決める（途中で終わっても立派な作品です）というキミ子方式の絵の描き方は、障害者福祉の中で最近叫ばれている「自己選択、自己決定」に通ずるものがあった、いつかチャレンジしようと思っていました。5年間がありました、この春やっとチャンスはきました。日曜日に絵を描きましようと呼びかけると、在園していた14名の内12名の利用者の方が絵の教室（プレイルーム）に机

を運んで作りました）に集まりました。まずは色づくりの練習、3色の絵の具を混ぜるといような色が出来て、不思議そうに白い画用紙を埋めていきます。それぞれに違う色、違う水加減で、これだけでも素晴らしい作品が出来ました。そして「本日のモデル」のイチゴがやっと登場。「先に食べたらいけないよ」と説明しておくところり食べた人はたったの一人、みんなモデルに敬意を表して立派な態度です。「イチゴは葉っぱが一番、そしてゴマを描いて、最後にみずみずしいおいしい実を描きます」とお手本を見せた後、それぞれにイチゴを描き始めました。話を良く聞いていて、自分勝手に描く人は一人もいません。い加減に描く人も一人もいません。色を作って、葉っぱをかいで、ゴマを描いて、一休み、ゆつくりゆつくり描いています。の12時、「おめでとう！」と作品を貼り出していくと、みんながみんな鼻高々です。一人一人違った色使いで、一人一人違った形だけどイチゴらしいイチゴが勢ぞろいしました。満足そうな表情と「次は、いつ描くの」の声、自分を表現することが苦手だったり、機会を得にくい人たちですが、やっぱり自分を表現したいんですね。みんなの声にこたえて、次の絵画教室の機会をうかがっています。



三気の里メールアドレス紹介  
三気の里についてのご意見、要望その他何でも結構ですのでぜひメールをお送り下さい。皆様の声をお待ちしております。

URL <http://www7.ocn.ne.jp/>

~ sanki

E-mail [sanki@siren.ne.jp](mailto:sanki@siren.ne.jp)





### 退職にまたつて

秦 弘美

今年の三月で退職します。三気の里で働かせてもらってはや5年。あつという間の時間でした。こうやって振り返ってみるといろんな事が頭の中で浮かんできます。楽しかったこと、辛かったこと、うれしかったこと。三気の里で過ごした時間を私の心に残してこれからも生きていきたいと思えます。今まで、本当にお世話になりました。



江藤 ひとみ

3月いっぱいまで退職することになりました。初めて三気の里に実習に来て約6年、働き始めて4年。短い間でしたが、みんなと頑張ってきた事づくんぶ良い体験であり、良い思い出です。まだまだ未熟者の私：これからも三気の里で学んだ“スマールステップ”で前進して行きたいと思えます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

佐藤 香織

「療育より仲良くなる事が一番。療育に答えはなく、どんな答えも正解で、悩み苦しむことが答えを導く方程式だ」という教えが8年たつてようやく理解できた気がします。自分にとって三気の里の利用者は、家族であり、友人であり、師であり、そしてライバルでした。これからは現場ではなく少し離れた所から、利用者のたんぼの種を飛ばす為の風となり、生涯三気の里を応援していきたいと思えます。

井島 愛子



勤めて4年が過ぎました。ただ目の前の仕事だけをこなして来た毎日でした。通所部での2年間、2班での1年9ヶ月、5班での3ヶ月。楽しかった宿レク、初めての夜勤気分に参加したけど翌朝ゲツソリしたのもいい思い出。辛い事、きつい事、悲しくて泣いた事の方が多かったけど、やっばり思い出すのは皆の笑い話。月並みですが“人は出会うために生ま

れてきた”そう思える皆の存在は私の大事な宝物です。ありがとうございました。

坂本 信子

「お局の座は信ちゃんに譲るね」と高橋千草指導員に言われてから早幾年、今年やっと卒業できます。(後任は誰だか知らない...)互いに50と過ぎた頃、茶飲み話に「山登りしたね」「バリ島行ったとバイ」「ネット頑張ってる？」等と楽しい話が利用者の皆とできる。そんな絆が残っている事を信じて三気の里を去って行きます。13年間お世話になりました。

石井 康就

今年度3月をもちまして退職させていただきます。9年間という間、楽しい思い出・辛い思い出とたくさんありましたが、退職する今となっては皆と過ごした楽しい事ばかりが思い出されます。先輩方、後輩の職員、ご家族

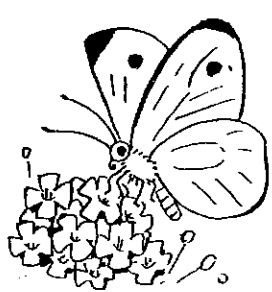


の方々、そして利用者の皆に支えられてここまで頑張つてくれた9年間でした。ありがとうございました。

今長谷星出宮業中

梅や桜が咲き、春の到来を感じるこの頃。出会いと別れの季節でもあります。厨房では、パート勤務で働いていた、中山さん、岡田さんが退職することになりました。私も同じ頃に入社したので、その頃からの長い付き合いになります。忙しい日々の中、色々なことがありましたね。今まで、食堂営業を続けてこられたのは、パート勤務さんのおかげだと思っています。とつても寂しくなりますが、13年間本当に、お疲れさまでした！

金丸



# 後援会ありがとう

高宮 一嘉・松田 敏子  
 江嶋 謙一・上田ゆかり  
 米川 裕司・石原 典子  
 篠崎 三雄・古庄 達成  
 林田 耿介・正子  
 高木 勝

敬称略

# 後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号郵便振替

01970・8・14902

社会福祉法人 三気の会后援会

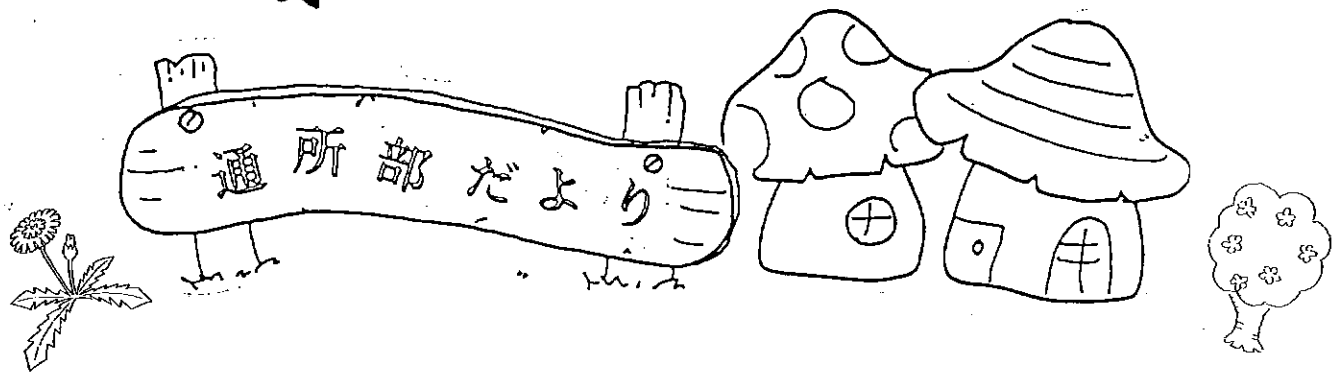
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54・2

一口 3千円

団体は、1万円より



宿泊レクリエーション

く福岡・唐津・呼子方面

3月13日から一泊二日で宿泊レクリエーションに出掛けて来ました。行き先は、福岡・唐津・呼子方面。今回は保護者の方にも参加していただき、総勢16名でバスガイドさん付きの賑やかなバスの旅になりました。

一日目は、福岡県にあるマリノワールド海の中道、マリノアシティ福岡を散策しました。マリノアシティ福岡では、世界で3番目に大きいといわれる大観覧車に乗りました。「乗らん！」と言い張る人、足を震わせている人、怖くて外を見れない人など、それぞれでしたが、足が地に付いた時は皆ホッとした表情を見せていました。

宿泊先は、佐賀県唐津の『信宿汐湯旅館』。浜崎海岸の砂浜に面した旅館で、温泉では、海に沈むきれいな夕日を見る事が出来ました。夕食では、沢山の海の幸が用意された中に、なんと「白魚の踊り食い」がありました。初めて見る食べ物に口元まで運んで「イヤッ！」と言う人や、あっさり飲み込む人、周りの人が食べたのを確認して食

べる人など、結局は皆食べる事が出来ました。また、夕食の場を一番盛り上げてくれたのは、得意のカラオケを2曲も披露した森川さんでした。笑顔で熱唱する誠さんにつられて、皆で「お久しぶりね」の大合唱でした。

二日目は、呼子の朝市で買い物、半潜水型海中展望船(ジューラ)で海の中を見ることが出来ました。展望船の中から見ると海の中は、水族館とは違った感じで、皆いつの間にか黙って見入っていました。

楽しい事や初めての事、色々な体験をして、あつという間に過ぎていった一泊二日。苦手な事でも混乱せず、上手く乗り越えられた人。逆にいつもと違う状況に新たな課題がみえた人等様々でしたが、とても楽しい二日間となりました。

岩田

